

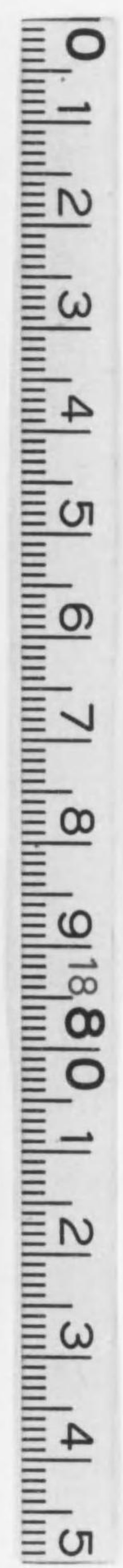
R016. 2-Ma26-2ウ



1200500765571

16.2
26

町橋市立図書館概覽
昭和十一年



始



27

28

前橋市立圖書館概覽

(昭和十一年)

R
016.2
MA26
2

前橋市立圖書館概覽

目次

- 一、沿革略
- 二、建築及設備
- 三、藏書及目錄
- 四、閱覽狀況
- 五、經費
- 六、職員
- 七、一覽表

◎館則及閱覽規程

同館
寄贈本



前橋市立圖書館概覽

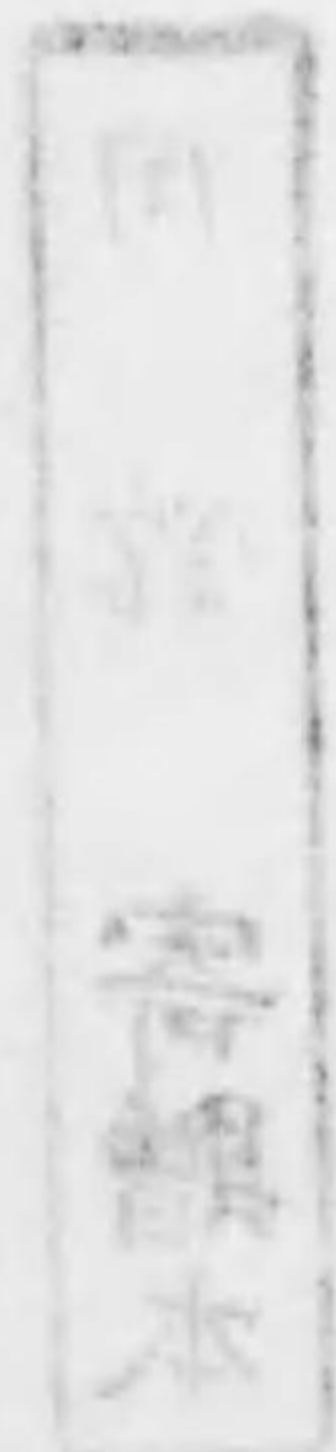
沿革略

本館は大正天皇御即位禮を奉祝し、御聖徳を永遠に記念せむが爲め大正四年二月十七日の市會に於ける滿場一致の決議を以て新設せられたるものにして同年八月二十五日起工翌五年三月八日竣工全月二十五日落成式を擧げ四月一日を以て開館せり。建築費金五千七百八拾圓設備費金壹千貳拾五圓雜費金百貳拾四圓計金六千五百貳拾九圓を要せり、而して内金千九百圓は市有志金參百圓は帝國在郷軍人會前橋支會の寄附に依れり。

大正四年十二月二十三日樋口千代松館長に任せらる。

大正七年八月書庫建築の工を起し翌八年一月竣工す、建築費金五千貳百貳拾五圓内金四千五百圓は本市出身の實業家有松尙龍氏金五百圓舊前橋藩主松平伯爵家の寄附に依る。書庫の落成と共に婦人閱覽室其他の模様替を行へり。

大正八年一月館報第一號を發行し爾后毎月一回定期に刊行して新着圖書の案内、良書の紹介、讀書趣味の普及向上に努む。



大正九年一月公立圖書館令に準して館則を改正し司書書記等の職員を置く。

大正十年十一月二十三日館長樋口千代松依願退任。

大正十年十二月十四日深堀越夫館長に任せられたりしが在職僅かに一年にして大正十一年十一月二十一日死去。

大正十一年十二月六日櫻井菊次郎館長に任せらる。

大正十二年六月館則及圖書閱覽規程を改正し新たに圖書帶出規程を定めて圖書の館外貸出を開始し以て閱覽者の便を図り且つ兒童閱覽室に於ける管理方法を改む。

大正十三年五月十二日館長櫻井菊次郎公立圖書館長に任せらる。

大正十五年四月一日本縣知事はじめ市内關係者を招待して開館十週年記念式を舉げ館報記念號を發行す。

大正十五年十月群馬縣人著述書目を編纂刊行す。

昭和二年一月十八日上野教育會よりの委託圖書二千八百六十四部五千六百七十八冊の委託契約を解除し全部同會より無償譲受をなす。

昭和二年三月和漢圖書分類綱目を改訂し四月より新分類表により整理す。

昭和二年九月十六日館長櫻井菊次郎依願本職を免せられ、九月三十日中島盛一館長に任せらる。

昭和三年三月十日特別の 思召を以て東山御文庫取調掛編纂にかゝる宸翰集壹部下賜せらる。

昭和三年八月二十五日 今上陛下御即位禮記念事業として閱覽室増築の工を起し十一月十三日竣工す、建築費金參千參百六拾圓。新たに増築の閱覽室は之を新聞雜誌閱覽室及兒童室に充つると共に一般閱覽室及婦人室其他の模様替をなせり。

昭和四年三月一日閱覽者用書名カード目錄を調製し之を備付く。

昭和五年五月二十二日館長中島盛一依願本職を免せられ、同日司書佐藤錠太郎公立圖書館長に任し前橋市立圖書館長に補せらる。

建築 及 設備

本館は市の略中央なる曲輪町甲百七番地(市役所の東隣)に位置し本館新館附屬家及書庫より成る。

本館は木造洋風二階建にして階下六十八坪階上六十四坪五合合計百三十二坪五合附屬家平家建十四坪、これに昭和三年十一月御大典記念事業として増築せる洋風木造平家建二十八坪(新館)一棟及附屬舎三坪五合を加へて總坪百七十八坪あり。各室の配置及び坪數左の如し。

| 館新 | 階 本 | | | | | | | | 位置 | | |
|-------|-------|---------|-------|------|---------|-------|--------|------|-------|-------|----|
| | 兒童閱覽室 | 新聞雜誌閱覽室 | 廊下及階段 | 昇降口 | 休憩室 | 整理室 | 館長室 | 事務室 | 婦人閱覽室 | 普通閱覽室 | 種別 |
| 一六、〇 | 一二、〇 | 一一、〇 | 三、〇 | 四、〇 | 二、〇 | 二、〇 | 七、五 | 一〇、五 | 二八、〇 | | |
| 合 計 | 家 屬 附 | | | | 上 階 館 本 | | | | 位置 | | |
| | 便所 | 手洗場及渡廊下 | 使丁室 | 假書庫 | 廊下及階段 | 新聞整理室 | 講堂兼會議室 | 應接室 | 特別閱覽室 | 種別 | 坪數 |
| 一七八、〇 | 一、五 | 九、〇 | 七、〇 | 一〇、五 | 一二、〇 | 七、〇 | 一七、五 | 一〇、五 | 七、〇 | | |

四

各室の坪數は前表の如くにして普通閱覽室は五十六人、婦人閱覽室は二十四人、兒童閱覽室は四十六人、新聞雜誌閱覽室は二十六人を容る、座席の設備をなせり。書庫は本館の背後にあり煉瓦造三階建にして鐵扉を用ひ防火の設備を嚴にす建坪十二坪總坪數三十六坪とす、書庫内の書架は三階を通したものの兩面用六箇各長六尺幅二尺、片面用三個各長六尺五寸幅一尺之を六段或は七段とすこの實用延長約一千九百餘尺にして收藏量は約三万二千冊を越ゆること能はざる程度とす。其の後書庫は早くも充實して餘地なきに至れるを以て館内の一室を一時的に充用して假書庫となしたるも尙狹隘を告ぐるに至れるを以て昭和八年九月特別閱覽室、館長室、會議室を廢し更に各室の配置を變更し一時的方途を講ずるの已むなきに至れり。遠からざる將來に於て設備上根本的考慮を必要とするに迫れり。

藏書及目錄

(一) 藏書

本館は全く新設にして一部の書籍をもあらざりしが設立の當初前橋實業談話會より金壹千圓の指定寄附あり之を市費に併せて購入せるものと有志の寄贈圖書とに依り大正五年四月一日、一千七百九十八部三千百五十二冊の藏書を以て開館せり、次

五

て同年五月有志より金九百六拾五圓の指定寄附あり大正五年末には二千七百十二部四千五百四十九冊に達することを得たり、次て大正六年上野教育會の藏書二千七百八十六部五千五百三十九冊を委託せられ大正七年五月には前橋青年實業俱樂部より故法學士長谷川東氏の藏書六百二十九部一千六十五冊を購入して寄附せらるゝ等あり且つ銳意圖書の蒐集に力を用ひて漸次其の數を増加し昭和十年度末に於ては二万二千百六十五部四万六千七百三十冊を數ふるに至り開館當時の十五倍に達し市民百人に對し五十五冊六分、一戸當り二冊七分の藏書を見るに至れり。其の増加狀況次の如し。

| 開館時 | 大正五年度末 | 大正十年度末 | 大正十五年度末 | 昭和五年度末 | 昭和十年度末 | 藏書冊數 | 增加數 |
|-----|--------|--------|---------|--------|--------|------|-----|
| 三 | 四 | 二〇 | 三一 | 三八 | 四六 | 一五五 | 一〇〇 |
| 一 | 五 | 三九 | 四一 | 〇八 | 六七 | 九二 | 八〇 |
| 二 | 四 | 九四 | 一〇 | 七〇 | 七三 | 一〇 | 六八 |
| 九 | 五 | 一五 | 一 | 八〇 | 八〇 | 一 | 八〇 |
| 二 | 九 | 一五 | 一 | 七四 | 七三 | 一 | 八〇 |
| 一 | 四 | 一五 | 一 | 〇七 | 〇〇 | 一 | 八〇 |
| 〇 | 三 | 一五 | 一 | 八八 | 八六 | 一 | 八〇 |
| 三 | 六 | 一五 | 一 | 九三 | 九三 | 一 | 八〇 |
| 三 | 三 | 一五 | 一 | 九三 | 四三 | 一 | 八〇 |

(二) 圖書目録

本館には次の圖書目録を備付け閱覽者の檢索に便ならしむ。

(甲) 和漢書目録

1、分類目録

圖書ノ種類ヲ以テ索ムルノ用ニ供スル爲メ圖書ヲ分類項目ニ從ツテ分チ同一類中ノ書名ヲ五十音順ニ排列シタルモノ

2、書名目録

圖書ノ書名ニヨリ索ムルノ用ニ供スル爲メ圖書名ヲ五十音順ニ排列セルモノ

3、著者名目録

著者名ニヨリテ圖書ヲ索ムルノ用ニ供スル爲メ圖書ヲ各著者名ノ下ニ編入シ其著者名ヲ五十音順ニヨリテ排列シタルモノ

4、件項目録

圖書ヲ件名(或事項)ニヨリ索ムルノ用ニ供スル爲メ圖書ヲ狭義ナル件項名ノ下ニ編入シ其ノ件名ヲ五十音順ニ排列セルモノ

以上目録の編纂及排列に用ふる字音假名遣は寫音的假名遣とす

(乙) 洋書目録

洋書は藏書數極めて少く僅かに九百冊に過ぎざるを以て現在は分類目録一種と

し同一部門内の排列はアルハベツト順に依る

閲覧状況

本館蔵書の閲覧は出納式を本則とすれども一般辭書及現行法令等の類は各閲覧室の一部に於て書架を開放して自由に使用せしめ、新着の圖書は約二ヶ月間出納口の側に設けたる書架上に排列して折衷式を取りて閲覧者の便を圖り又雑誌、新聞、少年圖書は全部開架式によりて自由閱讀に供しつゝあり。

一、閲覧人員

大正五年度中に於ける閲覧者總數は三万二千五百六十六人にして一日平均百四十六人の數字を表はせり、其後逐年其の數を増加しつゝあるは明らかなる事實なるも其間統計上の基礎を變更したるを以て統計上に表はれたる數字を以て直ちに其の狀況消長を知ること困難なり故にこゝには統計上の統整以後のものを掲ぐ即左の如し。

| 年次 | 男 | 女 | 兒童 | 計 | 一日平均 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 大正十三年度 | 三七一七〇 | 一〇二五八 | 一五三四〇 | 六二七七〇 | 二一七、九四 |
| 大正十四年度 | 四六〇九六 | 一四二五九 | 一二三四二 | 七二六九七 | 二四九、八二 |
| 大正十五年度 | 六一二五二 | 一六二四一 | 一二九一三 | 九〇四〇六 | 三一五、〇〇 |

| 年次 | 男 | 女 | 兒童 | 計 | 一日平均 |
|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 昭和二年度 | 七四五八二 | 二二〇一〇 | 二一〇九〇 | 一一七六八二 | 四〇七、二〇 |
| 昭和三年度 | 八九三二五 | 二〇二三九 | 二四〇八七 | 一三三六五一 | 四七〇、六〇 |
| 昭和四年度 | 一四〇〇八八 | 一七四四一 | 二六五五七 | 一八四〇八六 | 六四一、四一 |
| 昭和五年度 | 一五三五四二 | 一八九三〇 | 二六二七五 | 一九八七四七 | 六八七、七一 |
| 昭和六年度 | 一四七九二六 | 一四三六七 | 二八三九五 | 一九〇六八八 | 六五五、二八 |
| 昭和七年度 | 一四七七七七 | 一二八〇九 | 二七五〇一 | 一八八〇八七 | 六五五、三五 |
| 昭和八年度 | 一四四七八一 | 八六二一 | 三〇九五八 | 一八四三六〇 | 六四六、八八 |
| 昭和九年度 | 一四五〇四二 | 八〇一四 | 三一九七六 | 一八五〇三二 | 六四四、七一 |
| 昭和十年度 | 一六〇四九三 | 九〇七二 | 三〇五一五 | 二〇〇〇七九 | 六九七、一三 |

二、閲覧圖書

左に掲ぐる閲覧圖書冊數は所定の閲覧票に記載し出納手の手に依りて閲覧者に渡されたる圖書の冊數を示せるものなり、從てこの數字中には閲覧室に公開せる圖書及新聞雜誌等の利用量は計入せざるなり、之等に對しては正確なる統計の基礎を求むること能はざるに依る、若し公開書架に備へたる圖書其他の利用量を加ふれば其の總量は著しく増加すべきものとす。最近年度の狀況如次

| 年次 | 館内閲覧 | 館外閲覧 | 兒童 | 計 | 一日平均 |
|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 昭和二年度 | 七七三二四 | 二一〇一八 | 二二五四四 | 一一九八八六 | 四一四、八三 |
| 昭和四年度 | 七五五九五 | 二一七九〇 | 二七八五八 | 一二五二四三 | 四三六、三九 |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 昭和六年度 | 七三八九〇 | 二六一八〇 | 二六三九三 | 二二六四六三 | 四三四、五八 |
| 昭和八年度 | 六三一九六 | 二二七三二 | 二七五四一 | 一一三四六九 | 三九八、一四 |
| 昭和十年度 | 八三九二二 | 二三四四一 | 二五一一九 | 一三二四八二 | 四六一、六〇 |

経費

本館設立當初の經常費は金貳千四拾圓にして内圖書費僅かに金五百六拾圓に過ぎざりしが、館務の發展に伴ひ逐年増加し昭和二年度より昭和五年に亘りては約壹萬圓の經費計上を見たりしも、市經濟の窮乏に禍せられて激減せられ今は緊縮せる計理のもとに經營するに止まる。今各年次に於ける經常費豫算を抄記すれば次の如し

| 年次 | 總額 | 人件費 | 圖書費 | 其他 |
|--------|-------|------|------|------|
| 大正五年度 | 二〇四〇 | 九九八 | 五六二 | 四八〇 |
| 大正七年度 | 三二七〇 | 一三四五 | 一一〇〇 | 八二五 |
| 大正十年度 | 八二一一 | 三七三八 | 二二〇〇 | 二二七三 |
| 大正十三年度 | 八七〇六 | 四四八二 | 二三五〇 | 一八七四 |
| 昭和二年度 | 九六五五 | 五〇九九 | 二八五〇 | 一七〇九 |
| 昭和四年度 | 一〇一四三 | 四四八五 | 三五〇〇 | 二〇七八 |
| 昭和六年度 | 七四六一 | 四三五五 | 一六五〇 | 一四五六 |
| 昭和八年度 | 七二七六 | 四二一三 | 一七九〇 | 一一七三 |
| 昭和十年度 | 七四一五 | 四三四七 | 一八六〇 | 一一〇八 |

職員

創立以來の職員 (雇員ヲ除ク)

| 職名 | 就任年月日 | 轉退年月日 | 勤務年數 | 氏名 | 備考 |
|----|------------|--------------|------|-------|---------|
| 館長 | 大正四、一二、二三 | 大正一〇、一一、二四退 | 六年 | 樋口千代松 | |
| | 大正一〇、一二、一四 | 大正一一、一一、二二死 | 一年 | 深堀越夫 | |
| | 大正一一、一二、六 | 昭和二、九、一六退 | 五年十月 | 櫻井菊次郎 | |
| | 昭和二、九、三〇 | 昭和五、五、二二退 | 二年八月 | 中島盛一 | |
| | 昭和五、五、二二 | 現任 | | 佐藤錠太郎 | 司書ヨリ任命 |
| | 大正六、四、一一 | 大正一〇、八、三一退 | 四年五月 | 山田豊藏 | |
| | 大正一〇、九、三〇 | 大正一一、三、三一退 | 一年七月 | 森島順之助 | |
| | 大正一一、三、三一 | 昭和五、五、二二館長ニ | 七年二月 | 佐藤錠太郎 | |
| 司書 | 昭和七、一〇、一五 | 現任 | | 奥野三郎 | 書記ヨリ任命 |
| | 大正九、一、二三 | 大正一一、三、三一退 | 三年三月 | 筒井寅次郎 | |
| | 大正一二、四、一 | 大正一三、三、三一退 | 一年 | 竹花武人 | |
| | 大正一四、七、三一 | 昭和七、二〇、一五司書ニ | 七年三月 | 奥野三郎 | |
| | 大正一五、七、三一 | 昭和四、一〇、二六退 | 三年三月 | 長沼二三夫 | |
| 書記 | 昭和四、七、三一 | 現任 | | 橋本満子 | 書記補ヨリ任命 |
| | 昭和六、三、三一 | 昭和六、一〇、一四退 | 七月 | 豊國敬子 | |
| | 昭和八、六、三〇 | 昭和一一、三、三一休 | 一年九月 | 岸和田政雄 | |



現在職員 (男六人 女二人)

- | | | | |
|----|--------|-----|--------|
| 館長 | 佐藤 錠太郎 | 司書 | 奥野 三郎 |
| 書記 | 橋本 満子 | 書記補 | 日高新八郎 |
| 雇 | 井上 要治 | 雇 | 小平 壽美子 |
| 雇 | 小島 勳 | 雇 | 山崎 榮一 |

一覽表 (昭和十一年四月一日)

| | | | |
|----------------|---|-------|--|
| 館名 | 前橋市立圖書館 | 館長 | 佐藤錠太郎 |
| 設置者別 | 市立、前橋市 | 所在地 | 前橋市曲輪町甲一〇七 |
| 設置年月日 | 大正四年十二月一日 | 所在地人口 | 八七一八一 (昭和十年國勢調査) |
| 圖書館令ニ依ル設置認可ノ有無 | 有 | 閱覽料 | 無料 |
| 定例休(閉)日 | 毎週月曜日、祝祭日、年末年始(十二月二十八日ヨリ一月五日ニ至ル) 曝書休館(十月中約十日間) | 開館時間 | 四月乃至九月 午前八時...午後九時 十月乃至三月 午前九時...午後九時 |
| 購入寄贈計 | 漢書 二六四四五 洋書 一九四一四 | 購入寄贈計 | 漢書 四五八五九 洋書 八七一 |
| 合計 | 四一八三九 | 合計 | 四六七三〇 |

館舎

| | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| 閱覽室 | 五七一、〇 | 事務室 | 二二、五 | 應接室 | 一〇、五 | 休憩室 | 二、二五 | 其他 | 六〇、二五 | 合計 | 二一四、〇 |
| 室面積積 | 三階 | 室面積積 | 五、五坪 | 室面積積 | | 室面積積 | | 室面積積 | | 室面積積 | |

累年比較

| 年度 | 經常費決算 | 藏書冊數 | 閱覽人員 | 開館日數 | 一日平均 |
|-------|---------|-------|--------|------|--------|
| 昭和十年度 | 六八三四、九八 | 四六七三〇 | 二〇〇〇七九 | 二八七 | 六九七、一三 |
| 昭和九年度 | 七二六二、〇九 | 四五〇六五 | 一八五〇三二 | 二八七 | 六四四、七一 |
| 昭和八年度 | 七〇九七、五一 | 四三三三七 | 一八四三六〇 | 二八五 | 六四六、八八 |
| 昭和七年度 | 七〇一〇、九四 | 四一五六七 | 一八八〇八七 | 二八七 | 六五五、三五 |
| 昭和六年度 | 六九一七、五二 | 三九三二二 | 一九〇六八八 | 二九一 | 六五五、二八 |
| 平均 | 七〇二四、六一 | 四三一八四 | 一八九六四九 | 二八七 | 六五九、八七 |

部門別藏書並閱覽圖書冊數 (昭和十年度)

| 種別 | 藏書冊數 | 館内 | 帶出 | 計 | 百分比 |
|------|------|-------|------|-------|-------|
| 總記 | 五六五二 | 一七二九四 | 一〇八九 | 一八三八三 | 一三、八八 |
| 精神科學 | 四〇二九 | 三〇二八 | 一〇六八 | 四〇九六 | 三、〇九 |

| | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 歷史科學 | 六六一二 | 七〇一九 | 一二〇三六 | 九〇五五 | 六、八三 |
| 社會科學 | 七四六六 | 四七二一 | 一二九〇 | 六〇一一 | 四、五四 |
| 自然科學 | 二八八三 | 六四九〇 | 一七二四 | 八二一四 | 六、二〇 |
| 工業 | 一〇八九 | 三三〇九 | 九一四 | 四二二三 | 三、一九 |
| 美術 | 七一八七 | 一七八四 | 五四〇 | 二二二四 | 一、七五 |
| 語言 | 一一一〇 | 二七四七 | 八三〇 | 三五七七 | 二、七〇 |
| 文學 | 六七〇八 | 三七五三〇 | 一三九五〇 | 五一四八〇 | 三八、八六 |
| 兒童用圖書 | 二一六六 | 二五一一九 | — | 二五一一九 | 一八、九六 |
| 總計 | 四六七三〇 | 一〇九〇四一 | 一二三四四一 | 一三二四八二 | — |
| 一日平均 | — | 三七九、九三 | 八一、六七 | 四六一、六〇 | — |

職業別閱覽人員 (昭和十年度)

| 種別 | 農工商 | | 公務員 | | 自由業 | | 其他ノ有業者 | | 無業 | 學生 | 兒童 | 通計 |
|------|-------|------|-----|-------|------|------|--------|------|------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 家記者 | 宗教官 | 人吏 | 其他 | 小計 | 有業者 | | | | |
| 外館 | 七四二四 | 一一二 | 二四二 | 三三 | 八六一 | 九〇 | — | — | — | — | — | — |
| 內館 | 二七四六 | 三三三 | 七二 | 五 | 二二八〇 | 三五九 | 三三〇 | 五九九 | 五四一七 | 二六一九二 | 二二三五九 | 七〇五八三 |
| 合計 | 一〇一七〇 | 一三〇七 | 三〇二 | 五八 | 二四一八 | 四七 | 三六二七 | 七二六 | 一六六〇 | 四一六九 | 八二五五 | 一四五一六 |
| 一日平均 | 二〇六三 | 二六二 | 六〇 | 一一、七三 | 四八七 | 一、四九 | 一六、八三 | 三、七〇 | 八三三 | 三三六 | 一〇六二 | 一〇四八九 |

◎館則及閱覽規程

前橋市立圖書館館則

第一章 總則

- 第一條 本館ハ内外古今ノ圖書ヲ蒐集保存シ公衆ノ閱覽ニ供スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本館ノ圖書閱覽時間ハ左ノ如シ但シ時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ
 - 四月一日ヨリ九月三十日マテ 午前八時ヨリ午後九時ニ至ル
 - 十月一日ヨリ三月三十一日マテ 午前九時ヨリ午後九時ニ至ル
- 兒童ノ閱覽時間ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 本館ノ休館日左ノ如シ但シ臨時休館スルトキハ其ノ都度之ヲ揭示ス

每週月曜日

祝日及大祭日

曝書期 九月若クハ十月ノ内約十日間
年末年始 十二月二十八日ヨリ一月五日マテ

第四條 閱覽料ハ之ヲ徵收セス

第五條 圖書ヲ紛失汚損又ハ毀棄シタル者ニハ本館指定ノ現品若クハ相當代價ヲ辨償セシム

第二章 評議員

第六條 本館經營ニ關シ諮問スル爲メ評議員若干名ヲ置ク

第七條 評議員ハ市長之ヲ囑託シ其ノ任期ヲ四ケ年トス

第八條 評議員會ハ必要ニ應シ市長之ヲ召集ス

第三章 圖書寄贈

第九條 圖書ヲ寄贈セントスル者ハ書名員數價格及住所氏名ヲ詳記シタル寄贈申込書ヲ本館ニ差出シ許諾ヲ得タル後現品ヲ送致スヘシ

第十條 寄贈圖書ニハ寄贈者ノ氏名及年月日ヲ標記シ其ノ厚意ヲ永遠ニ傳フ但シ匿名者又ハ第九條ニ依リ許諾ヲ得サル者ノ寄贈ニ係ル圖書ハ適宜ノ處置ヲナスヘシ

第十一條 圖書ノ寄贈ニ要スル費用ハ寄贈者ノ負擔タルヘシ但シ時宜ニヨリ館費ヲ

以テ支辨スルコトアルヘシ

第四章 圖書委託

第十二條 公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ノ保管ヲ委託セントスル者ハ書名員數價格委託期間及住所氏名ヲ詳記シタル委託申込書ヲ本館ニ差出シ承諾ヲ得タル後現品ヲ送致スヘシ但シ委託條件ヲ指定セントスルトキハ特ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第十三條 圖書ノ委託ヲ受ケタルトキハ本館ヨリ受託證ヲ交付ス

第十四條 委託圖書ハ保管中本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナス

第十五條 委託圖書毀損又ハ亡失シタルトキト雖モ本館ノ重大ナル過失ニヨルニアラサレハ其ノ責ニ任セス

第十六條 委託圖書ノ返付ヲ求ムルトキハ七日前ニ申出ツヘシ

第十七條 圖書ノ委託及返付ニ要スル費用ハ委託者ノ負擔タルヘシ但シ時宜ニヨリ館費ヲ以テ支辨スルコトアルヘシ

第五章 圖書帶出

第十八條 前橋市内ニ居住スル者ニハ本館ノ圖書ヲ帶出閱覽セシムルコトヲ得但シ

特別ノ事情アルトキハ前橋市外居住者ト雖モ特ニ帶出閱覽セシムルコトヲ得

附 則

第十九條 本則施行ニ關スル細則ハ館長之ヲ定ム

前橋市立圖書館圖書閱覽規程

第一條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書閱覽票ノ交付ヲ受ケ目錄ニヨリテ所要ノ圖書ヲ檢索シ所定ノ事項ヲ記入シテ係員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ退館ノ際返納スヘシ

第二條 閱覽室備付ノ圖書ヲ閱覽スル者ハ圖書閱覽票ニ閱覽シタル圖書名其ノ他所定ノ事項ヲ記入シ退館ノ際係員ニ差出スヘシ

第三條 同時ニ閱覽シ得ヘキ圖書冊數ハ新着書ハ一冊其ノ他ハ二冊以内トス但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ特ニ二冊以上ヲ同時ニ閱覽セシムルコトアルヘシ

第四條 閱覽者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ喫煙飲食談話音讀其ノ他閱覽者ノ妨害トナルヘキ行爲ヲナサ、ルコト

二、猥リニ机椅子其ノ他ノ物品ヲ移動シ又ハ汚損セサルコト

三、閱覽室備付ノ圖書及新聞雜誌ノ位置ヲ亂サ、ルコト

四、圖書閱覽ハ必ス指定ノ閱覽室内ニ於テスルコト

五、圖書ハ丁寧ニ取扱ヒ汚損セサル様注意スルコト

六、圖書ノ轉貸ヲナサ、ルコト

七、讀了セル圖書ハ速ニ返納スルコト

八、館内揭示事項及館員ノ指示ヲ守ルヘキコト

第五條 閱覽者ニ於テ特ニ必要アル場合ハ館長ノ許可ヲ受ケ特別閱覽室ヲ使用スルコトヲ得

第六條 左記ノ者ハ登館ヲ謝絶ス

一、亂醉者又異様ノ風態ヲナシタル者

二、其ノ他登館セシムヘカラスト認メタル者

第七條 圖書ヲ紛失汚損シ又ハ毀棄シタル者ニハ本館指定ノ現品若クハ相當代價ヲ辨償セシム

第八條 閱覽ニ關スル規程揭示事項又ハ館員ノ指示ニ從ハス其ノ他不都合ノ行爲アリト認ムル者ハ退館セシメ情狀ニヨリテハ一定ノ期間登館ヲ謝絶スルコトアルヘ

前橋市立圖書館圖書帶出規程

- 第一條 圖書ノ帶出閱覽ヲ許スヘキ者ハ前橋市内ニ居住シ左ノ資格ヲ有スルモノトス但シ前橋市外居住者ト雖モ特別ノ事情アリト認ムルトキハ特ニ帶出閱覽ヲ許スコトアルヘシ
- 一、年齢滿十二年以上ニシテ身元確實ト認ムル者ノ保證セル者
- 二、館長ニ於テ身元確實ト認ムル者
- 第二條 圖書帶出ノ許可ヲ得ントスル者ハ圖書帶出票請求書ヲ差出シ其ノ交付ヲ受クヘシ
- 第三條 圖書ヲ帶出閱覽セントスルトキハ圖書帶出閱覽票ニ所定ノ事項ヲ記入シテ係員ニ差出スヘシ
- 第四條 同時ニ帶出シ得ヘキ圖書冊數ハ二冊以内トス但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ特ニ二冊以上ノ帶出ヲ許スコトアルヘシ
- 第五條 左記ノ圖書ハ帶出ヲ許サス
- 一、貴重圖書

二、辭書類及各科ニ渉ル參考書類

三、閱覽人ノ請求多キ圖書

四、閱覽室備付圖書

五、購入ノ月ヨリ一ヶ月ヲ經サル新着書及裝幀セサル定期刊行圖書

前項以外ノ圖書ト雖モ本館ノ都合ニ依リ謝絶スルコトアルヘシ

第六條 圖書帶出期限ハ七日以内トス但シ期間内ト雖モ本館ニ於テ必要アルトキハ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第七條 帶出圖書ヲ亡失汚損シ又ハ毀棄シタル者ニハ本館指定ノ現品若クハ相當代價ヲ辨償セシム

第八條 圖書返納ノ通知ヲ受クルモ相當ノ手續ヲナサ、ル者ニハ圖書ヲ亡失シタルモノト見做シ第七條ニ準シテ辨償セシムルコトアルヘシ

第九條 圖書帶出票又ハ帶出圖書ハ他人ニ貸與スルコトヲ得ス

第十條 圖書帶出票ヲ紛失シタルトキ又ハ職業住所等ヲ變更シタルトキ若クハ保證人ノ身分住所其ノ他ニ關シ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度直ニ本館ニ届出ツヘシ

第十一條 第九條ニ違背シ又ハ第十條ノ届出ヲ怠リタル爲メ本館ニ損害ヲ與ヘタル場合ハ該圖書帶出票署名者ヲシテ賠償ノ責ニ任セシム

278
264

終

